

信頼と社会の発展に貢献する
機械総合商社



2017年3月期 決算説明会

2017年5月30日

東京産業株式会社 (8070)

- ◆ 会社概要
- ◆ 2017年3月期 決算概要
- ◆ セグメント別事業内容
- ◆ 中期経営計画
- ◆ トピックス

- ◆ 会社概要

- ◆ 2017年3月期 決算概要

- ◆ セグメント別事業内容

- ◆ 中期経営計画

- ◆ トピックス

本年2017年に創立70周年を迎える機械総合商社 筆頭株主は火力発電システム事業を手掛ける三菱日立パワーシステムズ

■ 基本情報

会社名:	東京産業株式会社
所在地:	東京都千代田区大手町二丁目2番1号
代表者:	代表取締役社長 里見 利夫
創立:	1947年10月20日
資本金:	3,443,284,858円
事業内容:	各種機械・プラント・資材・工具・薬品 などの国内販売ならびに貿易取引、 不動産賃貸業
事業拠点:	国内16ヶ所(子会社2社 関連会社1社) 海外11ヶ所(" 7社)

■ 沿革

- 1942年に機械器具の製造販売を業とする大和機械(株)を設立
- 1947年**三菱商事(株)の解散が命ぜられ同社機械部有志が当社の経営権を譲り受ける**、商号を東京産業(株)に変更
三菱系各社支援の下、一般産業機械及び器具類の国内販売、輸出入を業とする**機械専門商社として新発足**
- 1950年代に名古屋、仙台、大阪(現関西)等、主要な国内各拠点を開設
- 1959年東京証券取引所に店頭株として公開、1961年の二部上場を経て、1996年東証一部に指定替え
- 2000年代にかけて、海外拠点を相次いで開設、海外展開を積極化
- 2015年福島復興支援の拠点として、福島営業所(現福島支店)開設
- 2017年10月に会社創立70周年を迎える

会社概要

■ 海外ネットワーク



■ 国内ネットワーク



-
- ◆ 会社概要
 - ◆ 2017年3月期 決算概要
 - ◆ セグメント別事業内容
 - ◆ 中期経営計画
 - ◆ トピックス

決算サマリー 損益計算書

売上高・利益ともに過去最高益の前期を下回るが、前々期とほぼ同水準

(単位:百万円)

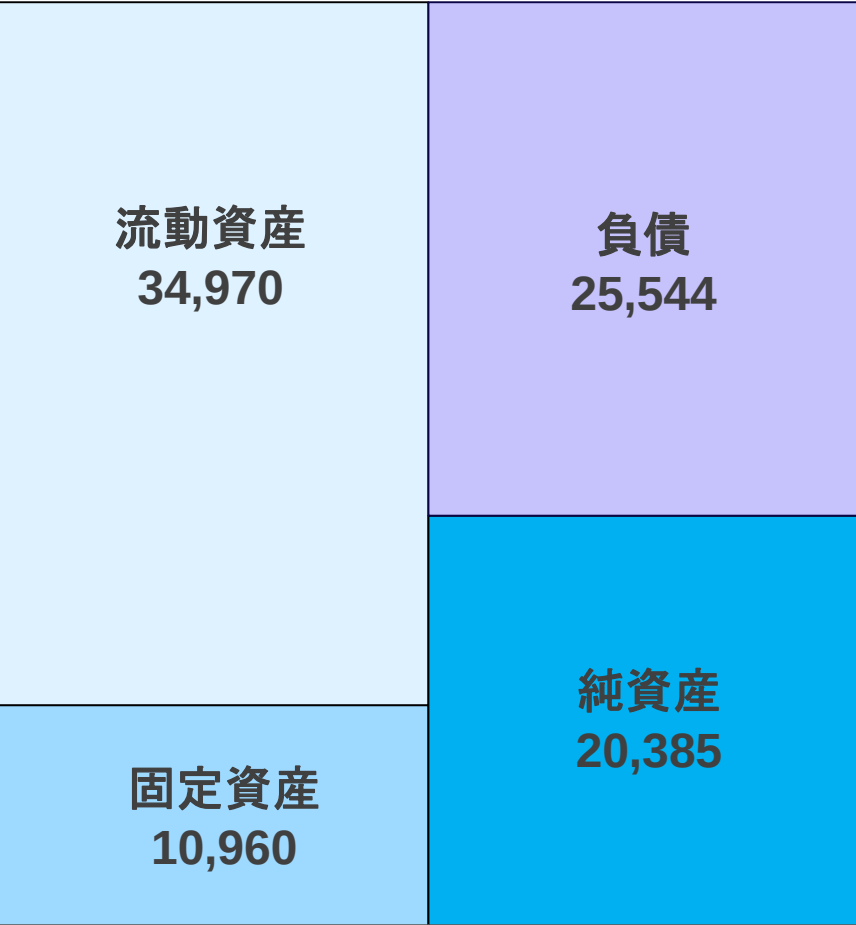
	2016年3月期	2017年3月期	前年比	
			増減額	増減率(%)
成約高	109,443	94,282	△ 15,160	△13.9%
成約残高	69,485	78,795	+9,310	+13.4%

売上高	111,028	84,972	△ 26,056	△23.5%
売上総利益	6,709	6,299	△ 410	△6.1%
営業利益	2,067	1,354	△ 713	△34.5%
経常利益	2,276	1,591	△ 685	△30.1%
当期純利益	1,519	1,142	△ 376	△24.8%
一株当たり当期利益	56.59	42.56	△ 14.03	△24.8%

貸借対照表

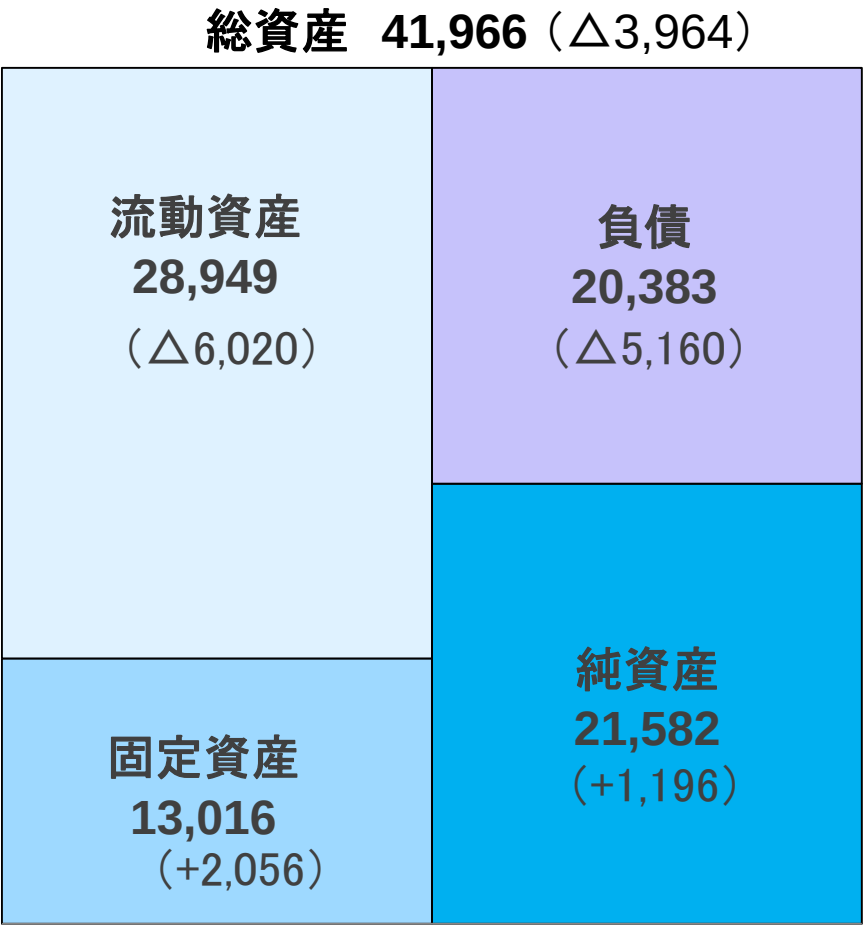
利益剰余金等の寄与により純資産は21,582百万円に増加

2016年3月期 (単位:百万円)
総資産 45,930



自己資本比率: 44.4%

2017年3月期 (単位:百万円)



自己資本比率: 51.4%

キャッシュ・フロー計算書

事業用有形固定資産への積極投資は継続する一方、運転資金の改善により現金及び現金同等物は
前年比362百万円の増加

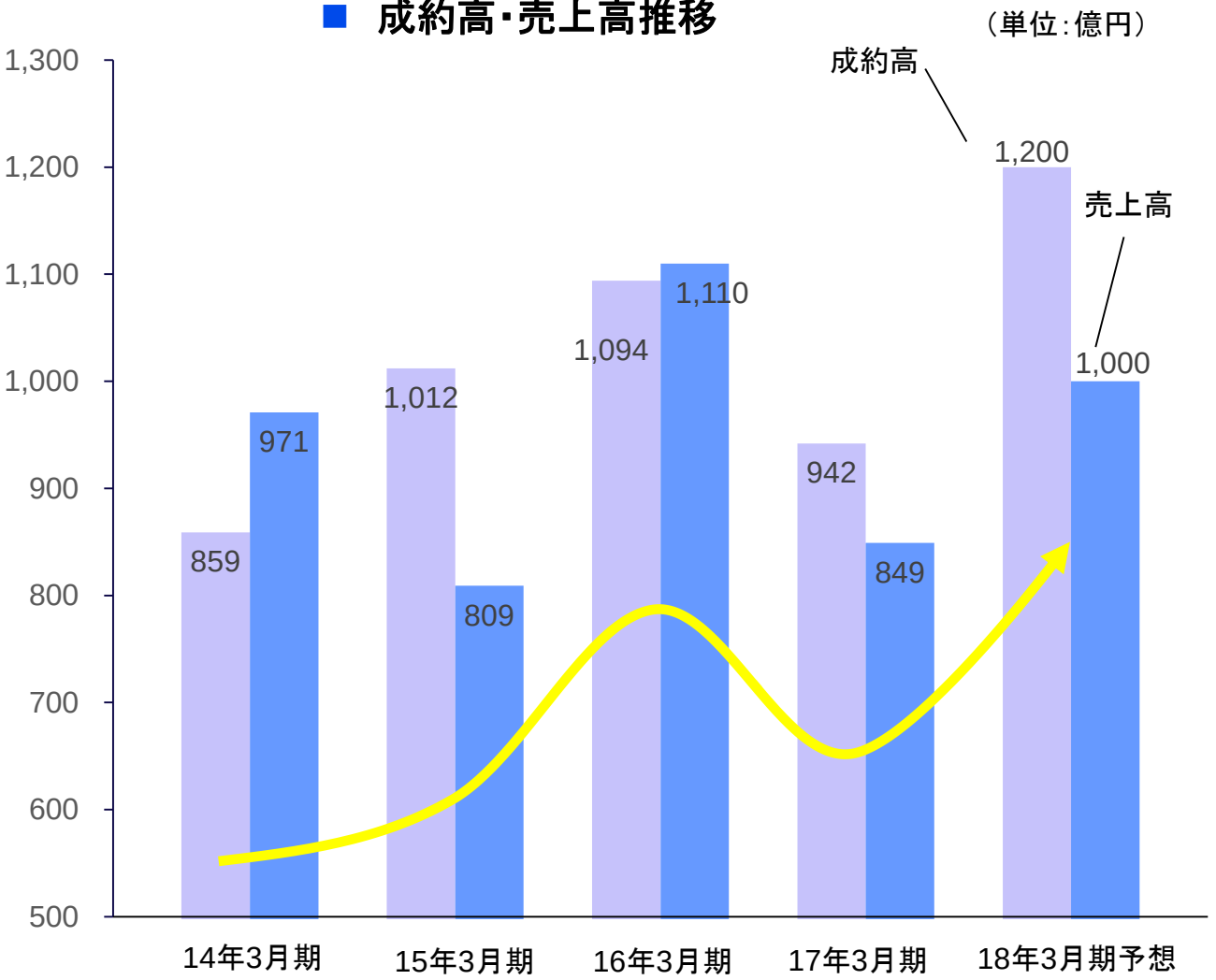
(単位:百万円)

	2016年3月期	2017年3月期	2017年3月期 主要項目
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,404	912	- 税引前当期利益により1,663百万円の増加 - 法人税等の支払により611百万円の減少
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,642	△ 87	- 有価証券および投資有価証券の取得により1,004百万円の増加 - 有価証券売却による収入2,400百万円の増加 - 有形固定資産の取得により1,768百万円の減少
財務活動によるキャッシュ・フロー	151	△ 497	配当金の支払により416百万円の減少
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 57	35	
現金及び現金同等物の増減額	△ 2,952	362	
現金及び現金同等物の期首残高	9,132	6,179	
現金及び現金同等物の期末残高	6,179	6,542	

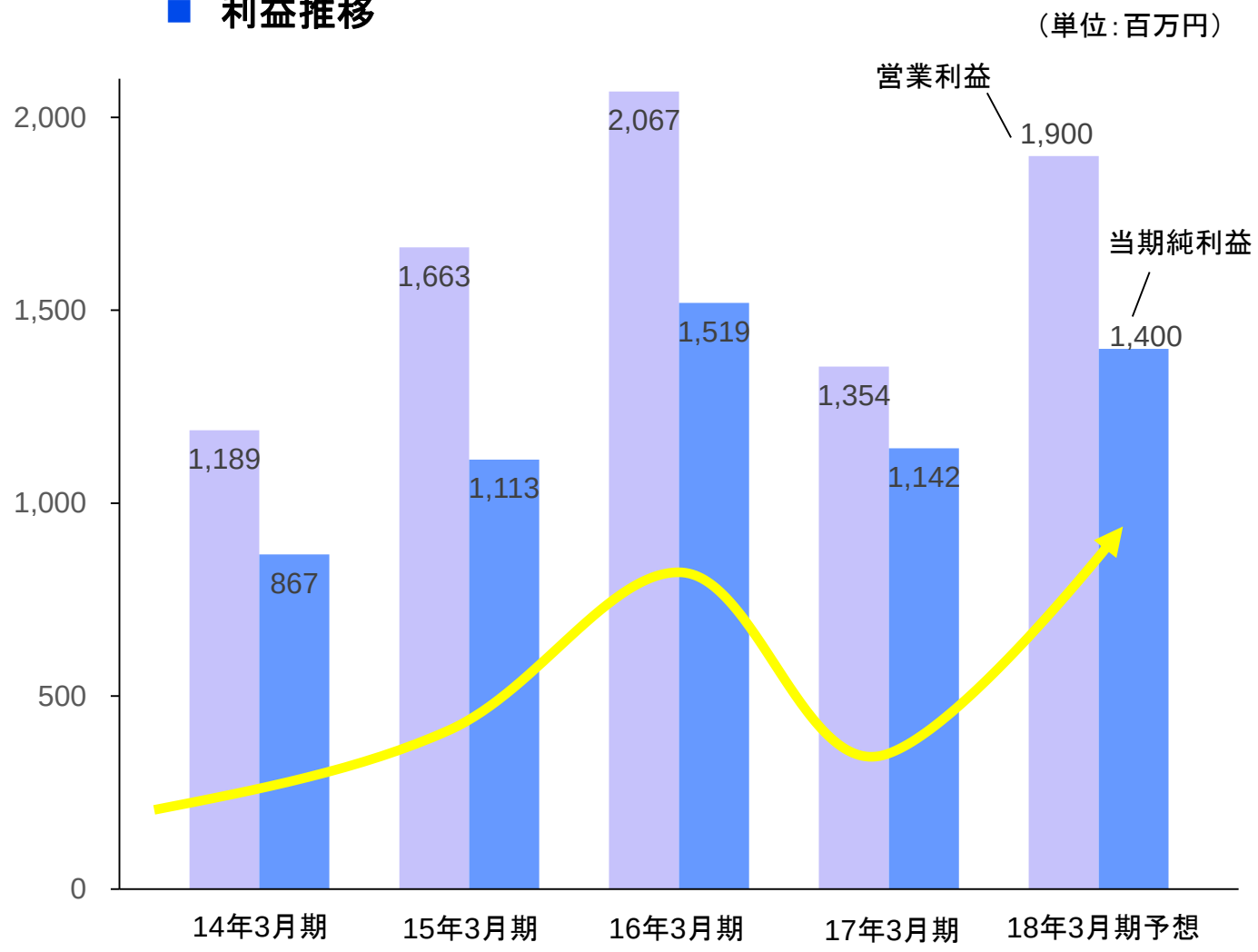
業績推移および2018年3月期業績予想

業績は前期小休止するも、2018年3月期は反転し、増収増益を見込む

■ 成約高・売上高推移



■ 利益推移



-
- ◆ 会社概要
 - ◆ 2017年3月期 決算概要
 - ◆ セグメント別事業内容
 - ◆ 中期経営計画
 - ◆ トピックス

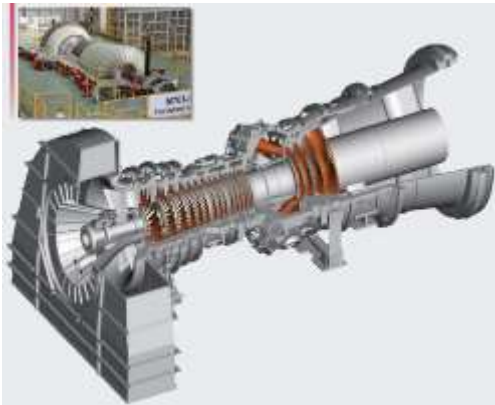
- 東日本の火力発電所に向け、三菱日立パワーシステムズ製発電設備の販売、保守・点検等を行っております
- 今後の展開として、IGCC石炭火力事業にも注力してまいります

■ 業績推移

(単位:百万円)

	2016年3月期	2017年3月期
売上高	61,158	46,711
営業利益	770	675

ガスタービン

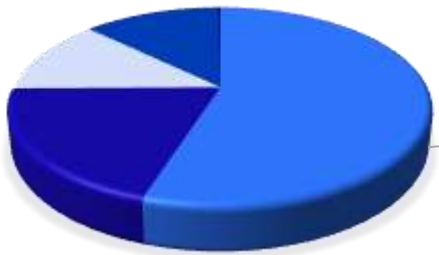


- 三菱日立パワーシステムズ製のJ型ガスタービン
- 2011年に商用運転を開始した世界最大級の高効率ガスタービン



IGCC
石炭ガス化複合発電

売上高構成比



- 複合発電で高効率化を実現。

電力関連
55.0%

セグメント概要 化学機械関連部門

- 化学関連業界向けにプラント並びに機械設備の販売・工事請負を行っております
- 医薬製造向けグラスライニングや、再生可能エネルギー、製氷事業など新規事業にも積極的に取り組んでおります

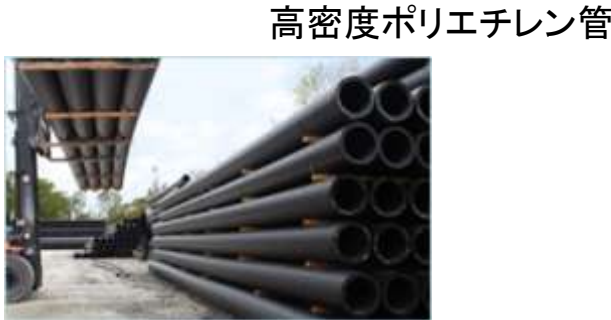
業績推移

(単位: 百万円)

	2016年3月期	2017年3月期
売上高	22,165	16,865
営業利益	360	398



グラスライニング
(医薬製造向ホーロータンク)



高密度ポリエチレン管

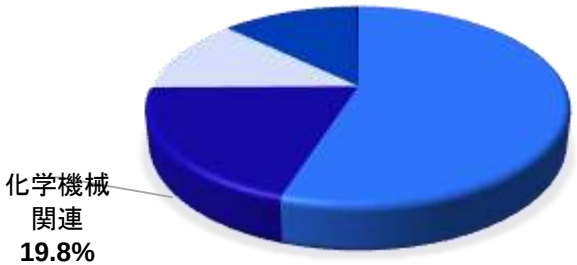


太陽光パネル



製氷機・
プレートアイス
水産業での
使用に最適

売上高構成比



化学機械
関連
19.8%

セグメント概要 電子精機関連部門

- ・国内外の自動車・IT関連メーカー向けに、工作機械・ダイカストマシンなどの販売、導入支援を行っております
- ・輸出取引や、海外現地法人を通じた販売も多いセグメントです

業績推移

(単位: 百万円)

	2016年3月期	2017年3月期
売上高	17,114	10,539
営業利益	827	147



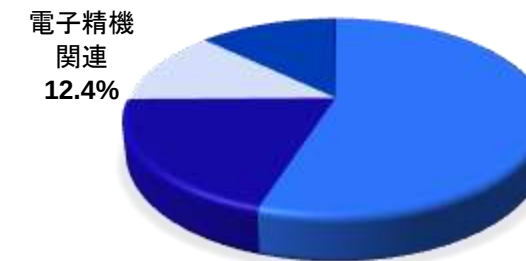
- ・ファナック製の小型工作機械
- ・周辺機器も含めて輸出し海外でセットアップ可能

ロボドリル



ダイカストマシン(システム受注も可能)

売上高構成比



- ごみ焼却炉など環境関連設備の販売、導入、運営支援を行っております
- 木質発電・バイオマス関連設備、食品製造業向けプラント設備、ポリエチレン包装資材やトイレ自動流水器なども取り扱っております

業績推移

(単位: 百万円)

	2016年3月期	2017年3月期
売上高	10,453	10,719
営業利益	44	61

ごみ焼却炉



シールドマシン

放射能汚染物質
除染減容システム



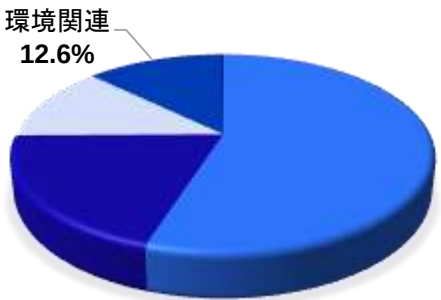
包装資材



トイレ自動流水器



売上高構成比



-
- ◆ 会社概要
 - ◆ 2017年3月期 決算概要
 - ◆ セグメント別事業内容
 - ◆ 中期経営計画
 - ◆ トピックス

中期経営計画

■ 10年後の目指す姿

- ◆ 10年後の創立80周年(2027年10月)に「環境・エネルギーに強い機械総合商社」の地位を確立
- ◆ 環境の変化に柔軟に対応し、エネルギー事業・グローバルビジネスと新規事業の相乗効果で更なる成長を目指す

■ 中期経営計画

- ◆ 今期は2015年度策定の5カ年計画(～2019年度)の3年目、創立70周年を機に10年後を見据えた長期計画の第1フェーズとして内容を改良
- ◆ 新中期経営計画(2017～2019年度)は、成長戦略(コア・ファイブ)を推進し、収益・顧客基盤の底上げとコーポレートガバナンスの強化を図っていく

■ 成長戦略(コア・ファイブ)

エネルギーへの対応深化

- ・ 発電から送配電まで、資材調達から廃棄処理まで、電力の多様化・自由化・効率化へ総合的かつ積極的に対応

モノづくりイノベーションへの挑戦

- ・ IoT・ロボット活用など製造業の技術革新やスマートファクトリーへの対応、次世代自動車技術への積極的関与

新規事業への取り組み

- ・ 機械商社の枠組みにとらわれない独自色をだせる新規事業の発掘・開拓、より付加価値を高めるための川上への展開も視野

グローバルビジネスの強化

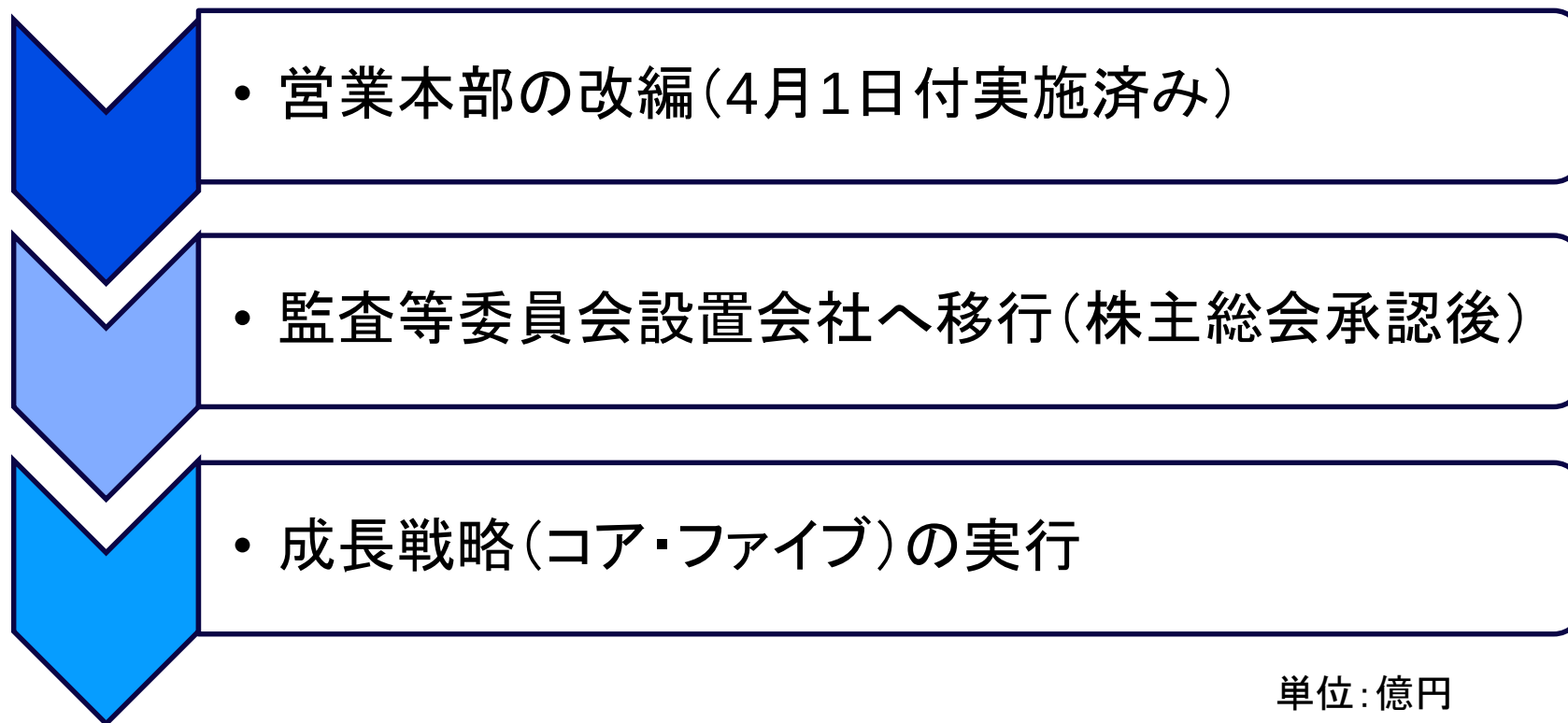
- ・ 海外顧客基盤の拡充と良質な海外製品の紹介、ODA(政府開発援助)等海外インフラ案件への参画

人財の育成

- ・ 採用の強化・OJTの充実を通じた、人材の早期戦力化・グローバル化・マルチタレント化の推進

中期経営計画

■ 財務目標



単位: 億円

	2017年3月期	2020年3月期	
			2017/3比
売上高	850	1,200	+350
経常利益	16	30	+14
当期利益	11	20	+9

中期経営計画

■ 事業セグメント

旧セグメント	事業内容	新セグメント
電力	火力・水力・風力発電所関連機器、原子力発電所周辺機器、送変電機器 等	電力
化学機械	化学・石油精製・製薬・繊維・ゴム・非鉄金属の各業界向プラント並びに機械設備、太陽光発電事業並びに関連機器、船用・陸用機器、製氷機器 等	化学・ 環境
電子精機	工作機械、ダイカストマシン及び周辺機器、形状測定器、産業用ロボット、FAシステム、塗装設備、溶剤回収装置 等	電子精機
環境	ごみ焼却炉関連設備、シールドマシン、福島復興支援事業	生活関連
	包装資材(レジ袋、ごみ袋等)、節水型トイレ自動流水器	
その他	自社所有のビル管理・運営 等	その他

本年4月
営業本部改編

※2018年3月期から

-
- ◆ 会社概要
 - ◆ 2017年3月期 決算概要
 - ◆ セグメント別事業内容
 - ◆ 中期経営計画
 - ◆ トピックス

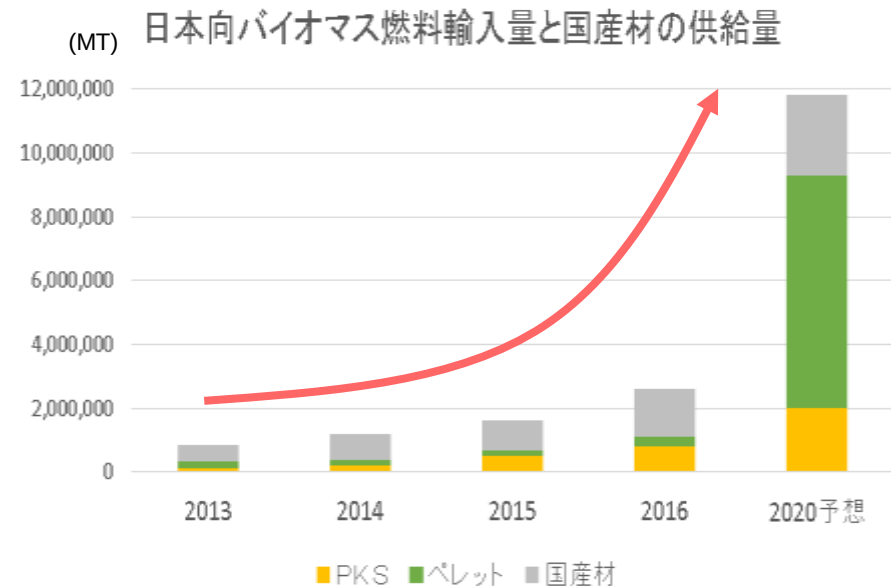
トピックス I. バイオマス燃料供給

■ 取り組みの概要

- ・ 国内外ネットワークによる安定的な燃料供給
- ・ チップ、ペレット、PKS等 多様な燃料の取扱い
- ・ 木質バイオマス発電事業サポート

■ 戦略的意図

- ・ バイオマス発電所は2020年前後が稼働ラッシュを迎え、燃料需要増加の見込み
- ・ プラントEPC、燃料供給、灰リサイクル・残滓処理まで運営のトータルサポートを提案



**エネルギー事業に対し、
トータルサポートを提案**



トピックス II. 太陽光発電

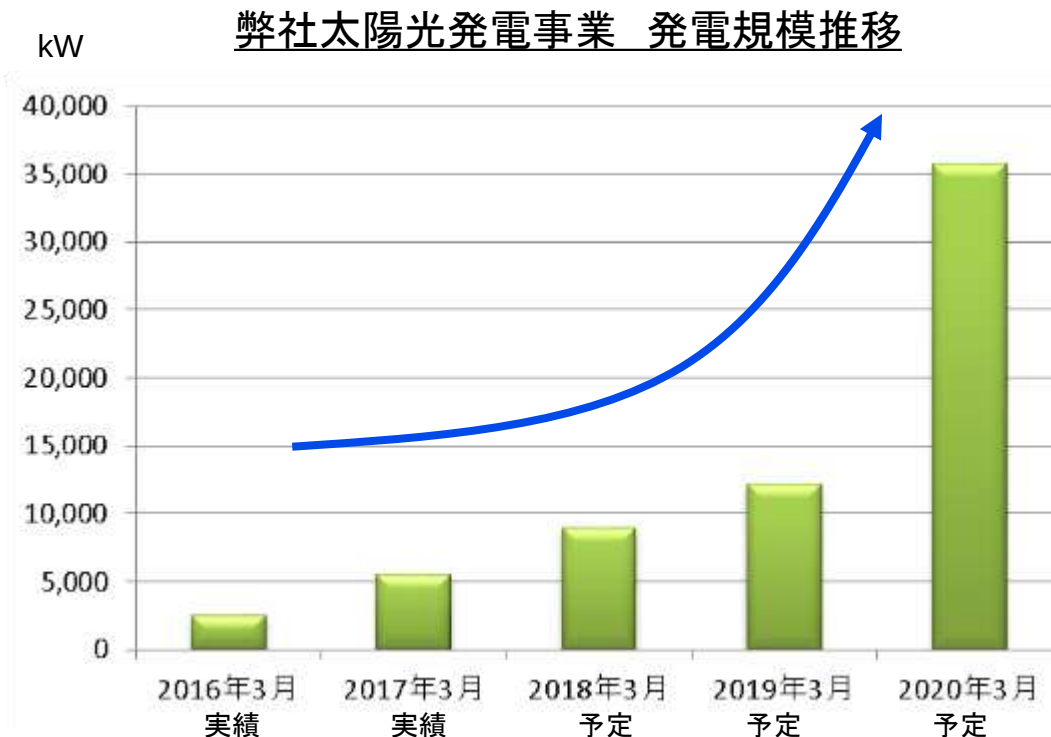
■ 取り組みの概要

- 太陽光発電事業運営
 - ✓ 運転中 3ヶ所
中津(196kW)、神栖(294kW)、山陽小野田(2,065kW)
 - ✓ 建設中 3ヶ所
つくばみらい(4,655kW)、関(3,300kW)、成田(1,702kW)
 - ✓ 計画中 1ヶ所
阿賀野(23,546kW)

■ 戦略的意図

- 新潟県阿賀野市に大規模メガソーラーを計画
- 順次稼働により、総発電規模は35,000kW超
- 固定価格買取制度(FIT)により、将来にわたる安定的な収益確保

つくばみらいソーラーパーク(北サイト・南東サイト・南西サイト)
南西サイト 2017年6月稼働予定
建設場所:茨城県つくばみらい市
トータル発電規模:4,655 kW/h
(写真:北サイト 2016年10月稼働済)

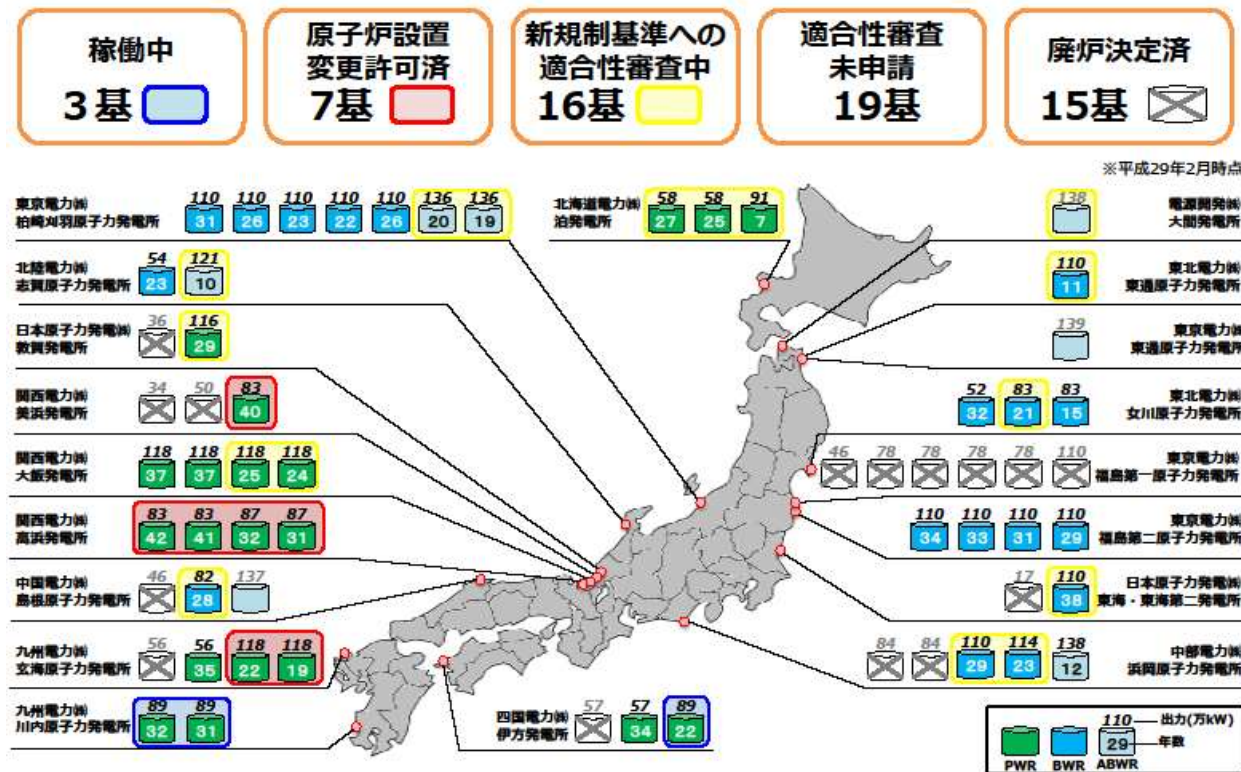


トピックス Ⅲ. 原子力ビジネス

■ 取り組みの概要

- ・ ニュークリアエネルギー部を新設
- ・ 核燃料再処理事業への取り組み
- ・ 廃炉事業への新規展開
- ・ 再稼働に向け原子力ビジネスの確立

日本の原子力発電所の現状

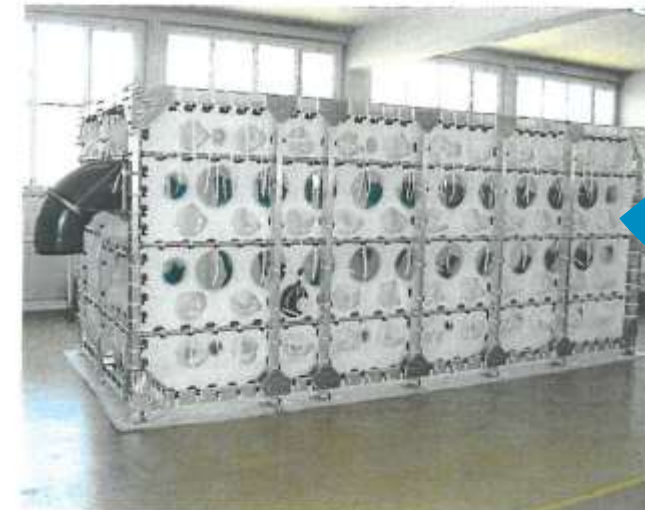


■ 戦略的意図

- ・ 使用済み核燃料への対応
- ・ 稼働40年を経過した廃炉設備の増加
- ・ 新規規制対応による設備投資の増加

✓ 廃炉事業への新規展開

(製品例)
スイス社製 放射線防御システム



放射線の影響を受けずに
ボックス内で作業可能

各種切断技術と組み合わせシステム提案

トピックス IV. 災害時電源供給サービス「ソラe3ステーション」

■ 取り組みの概要

- 太陽光発電と蓄電池を組み合わせた新規事業
- 「ソラe3ステーション」営業展開、器材調達
- 「災害時発電・電力マップ」を提供を計画

■ 戦略的意図

- 災害停電時の電力無償提供
- 災害時のエネルギー対策を通じた社会貢献
- 災害時電力マップの整備により、更なる展開を見込む

いざという時に役立つ電力源、ソラe3ステーション

- ✓ 工場・コンビニ等の施設・遊休地(屋根、駐車場等)を借受け、無償で太陽光発電設備を設置
- ✓ 通常時は、発電事業を展開
- ✓ 災害停電時に、非常用電源として無償で一般開放、通信機器やEV/PHEVの充電基地となる
- ✓ 施設・遊休地等の提供者の地域社会への貢献およびCSR活動に寄与



キャンピータイプ



ルーフトップタイプ
(折板屋根対応)



株式会社ソラエナジア

企画・開発



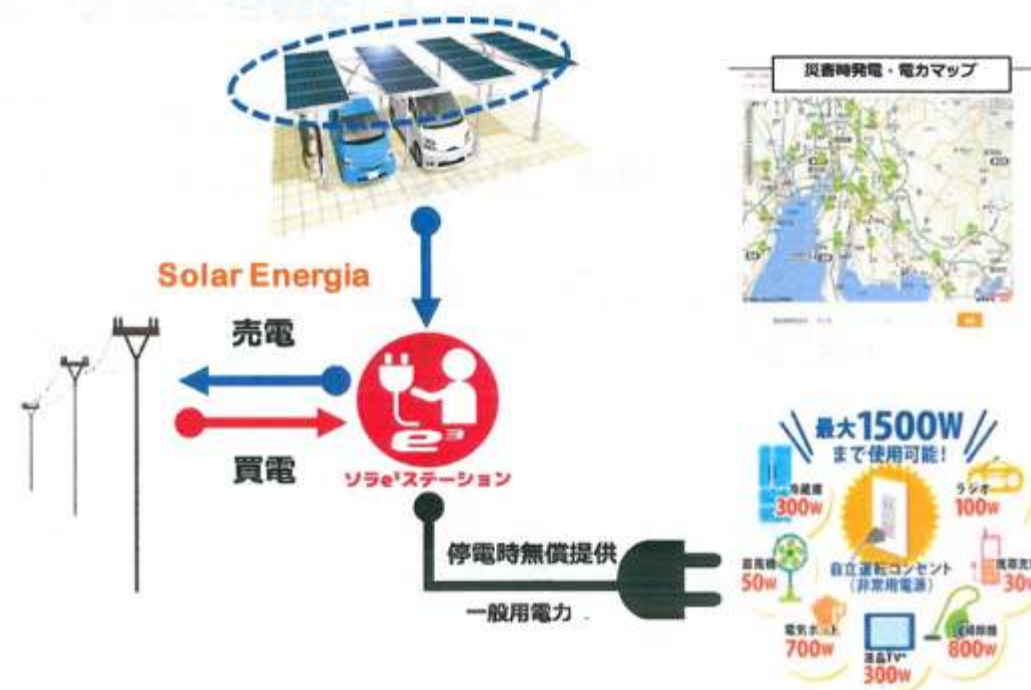
東京産業株式会社

営業



株式会社中部プラントサービス 設置工事・保守・営業

ソラe3ステーション (システムフロー)



・CSRの一環で、遠隔監視システムとの連携により、有事における電源使用可能場所が一目でわかる『災害時発電・電力マップ』の提供を将来計画しております

トピックス V. 海外インフラ

■ 取り組みの概要

- ODA(政府開発援助)を通じたベトナム向け大型ヒューム管・HDPE管販売、西アフリカ・インド洋、ポリネシア向け製氷機販売
- 東南アジア諸国(ミャンマー、カンボジア、ラオス)への営業展開

■ 戦略的意図

- ODA案件実績を積むことにより、ノウハウを生かした新たな商材取扱、無償案件への展開

ヒューム管



氷自動貯蔵搬出施設



HDPE管



造雪機



昨年度 製氷機受注実績

No.	国名	地域	案件
1	ガーナ	西アフリカ	港湾用製氷機
2	トンガ	ポリネシア	港湾設備向け建具
3	トンガ	ポリネシア	港湾設備電気工事
4	セーシェル	インド洋	港湾用製氷機
5	マダガスカル	インド洋	製氷機
6	コートジボワール	西アフリカ	港湾用製氷機・電気設備
7	ガンビア	西アフリカ	製氷機オーバーホール
8	トーゴ	西アフリカ	港湾用製氷機・電気設備

ご清聴ありがとうございました

東京産業株式会社

<http://www.tscom.co.jp/>

問合わせ先 企画本部 企画室

Tel. 03-6777-3142 Fax. 03-6672-5303

E-mail. info@tscom.co.jp

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。
また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。
また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成していますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。